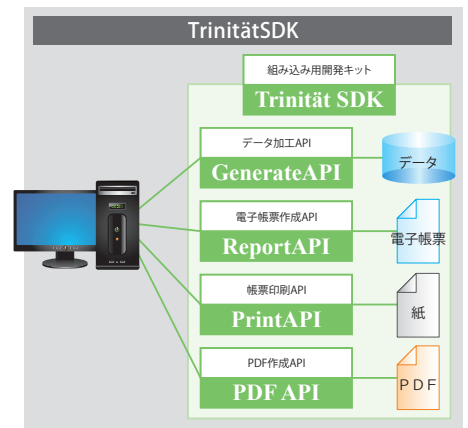


組み込み用開発キット TrinitätSDK

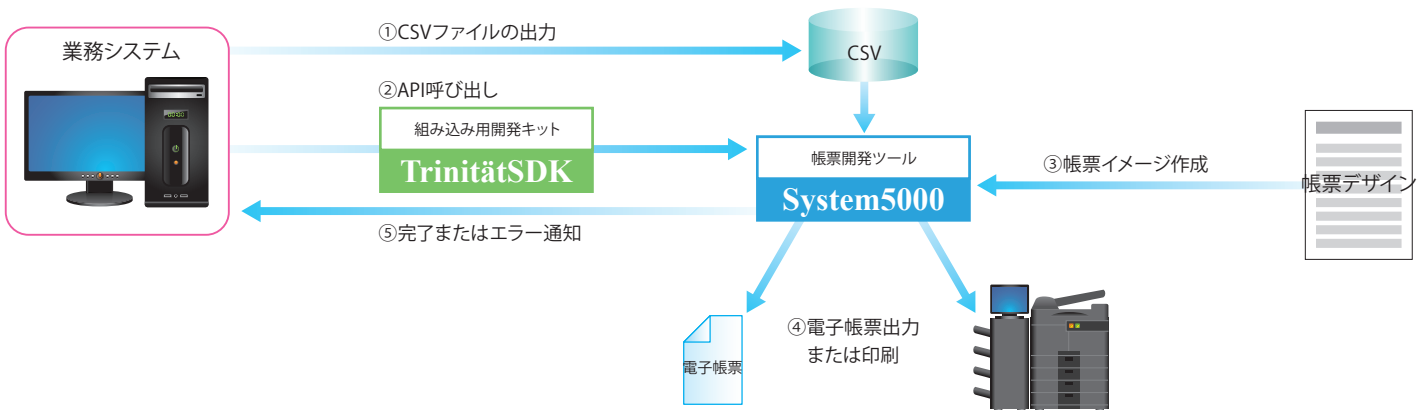
「TrinitätSDK」は、各種API群を業務システムから呼び出すことにより、システムの機能として利用できるツールです。
既存の業務システムや運用管理システムとTrinitätとを連携し、リアルタイムな電子帳票作成を実現します。



リアルタイム処理

●API連携

データ加工、電子帳票への変換、印刷といった機能を、業務システムから各々のAPIを呼び出すことで、各機能をシステムの一部として帳票の作成を行うことが可能です。例えば帳票の元データがRDBの場合、別売の「GenerateAPI」を使用することでデータを取り込むことができます。API連携は、Windows環境で使用可能です。



主な関数

●GenerateAPI (Generatorにて設定した定義を実行します)

関数	機能
TrnitGen_Init	実行環境の初期化
TrnitGen_Free	実行環境の解放
TrnitGen_Exec	プロセスファイルの実行
TrnitGen_GetStatus	実行ステータスの取得

●PrintAPI (ReportAPIで作成した帳票や既存の帳票を印刷します)

関数	機能
TrnitPrn_GetDsp	印刷環境の取得
TrnitPrn_SetDsp	印刷環境の設定
TrnitPrn_Exec	電子帳票ファイルを印刷
TrnitPrn_GetStatus	実行ステータスの取得

●ReportAPI (System5000にて設定した定義を実行します)

関数	機能
TrnitRep_Exec	レポートの実行
TrnitRep_Del	電子帳票ファイルの削除
TrnitRep_GetStatus	実行ステータスの取得

●PDF API (ReportAPIで作成した帳票をPDFファイルにします)

関数	機能
TrnitPdf_GetDsp	ブック描画環境の取得
TrnitPdf_SetDsp	ブック描画環境の設定
TrnitPdf_Exec	ブックのPDF変換
TrnitPdf_GetStatus	実行ステータスの取得

●業務システムへの組み込み。容易なAPI連携を実現

帳票作成、帳票印字をはじめとする多数のAPIをDLL形式にてご提供します。WindowsAPIの方式にて容易にAPI連携が可能です。
また、1呼び出しで実行可能な関数を多数用意しています。そのため、業務システムへの組み込みが簡単に行えます。

